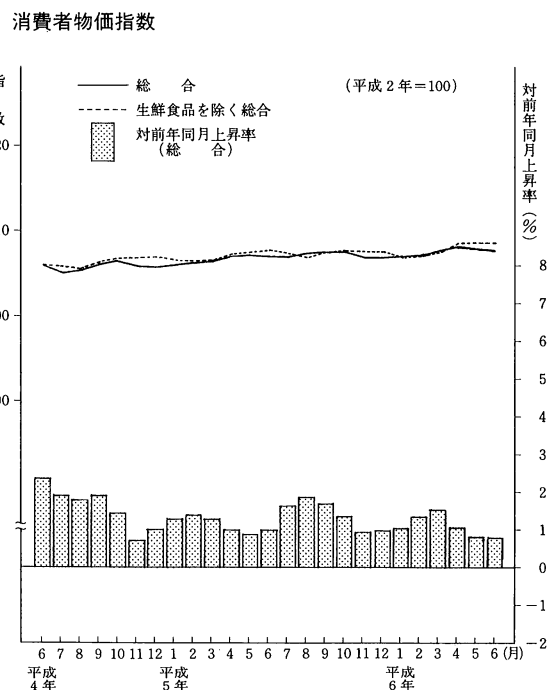
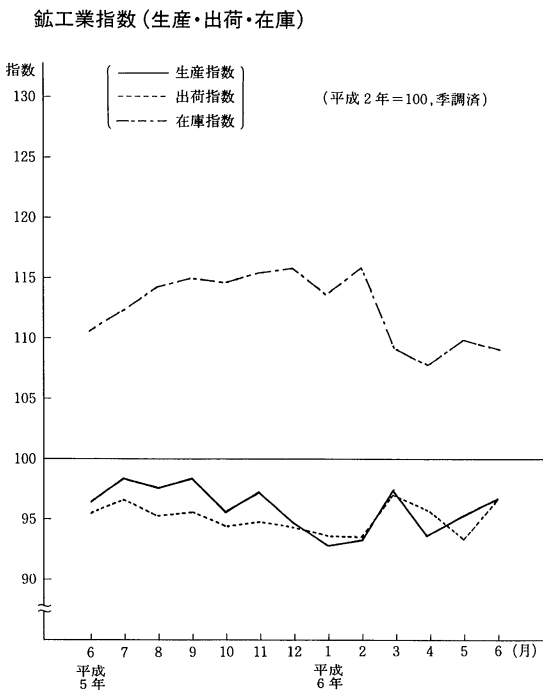
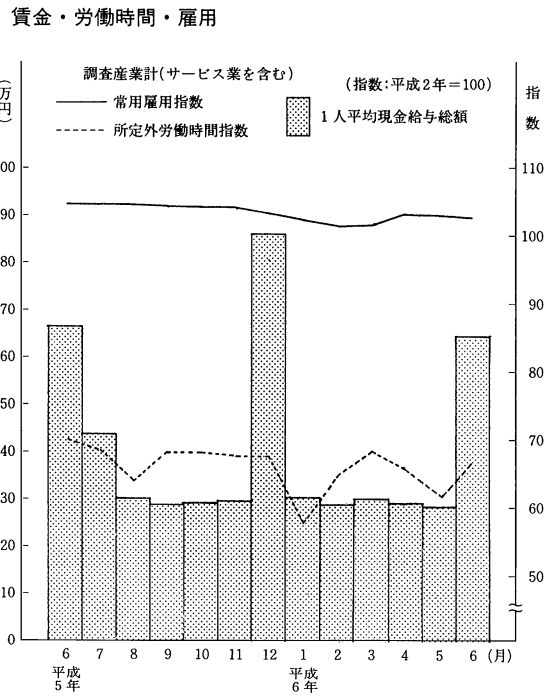
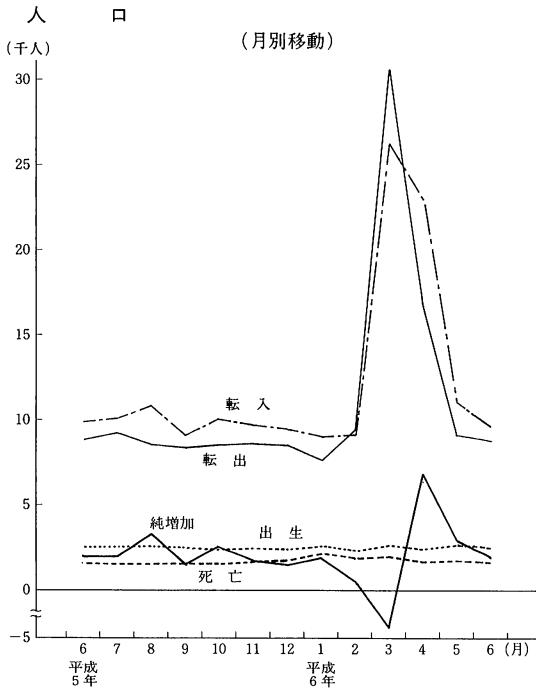


● 今月の主な動き

今月の主な動き



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口(7月1日)

本県の人口は、6月中に1,719人増加し、7月1日現在で、2,941,805人(男1,470,946人、女1,470,859人)となった。

内訳は、自然動態で944人(出生2,378人、死亡1,434人)増加し、社会動態で775人(転入9,633人、転出8,858人)増加した。前年同月と比べると21,751人(0.74%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が17市42町村、減少が3市23町村、増減なしが2町村である。

世帯数についても6月中に、1,382世帯増加し908,650世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用 (5月) (注)今回は、掲載が遅れていた5月分を併せてお知らせします。

1. 平均賃金の推移

5月の現金給与総額は、調査産業計で295,867円、対前年同月比0.4%増、このうち、きまって支給する給与は289,146円、対前年同月比0.5%減であった。また、このうち、所定内給与は266,056円、対前年同月比0.3%増であり、超過労働給与は23,090円、対前年同月比9.3%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比0.3%減であった。

2. 労働時間

5月の総実労働時間は、調査産業計で149.9時間、対前年同月比0.6%減であった。このうち、所定内労働時間は138.0時間、対前年同月比0.1%増、所定外労働時間は、11.9時間、対前年同月比8.5%減であった。

3. 雇用の動き

5月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.0%減であった。

(6月)

1. 平均賃金の推移

6月の現金給与総額は、調査産業計で644,007円、対前年同月比3.2%減、このうち、きまって支給する給与は296,927円、対前年同月比0.4%増であった。また、このうち、所定内給与は271,947円、対前年同月比1.1%増であり、超過労働給与は24,980円、対前年同月比6.1%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比7.1%減であった。

2. 労働時間

6月の総実労働時間は、調査産業計で167.5時間、対前年同月比1.2%増であった。このうち、所定内労働時間は154.5時間、対前年同月比1.7%増、所定外労働時間は、11.9時間、対前年同月比5.1%減であった。

3. 雇用の動き

6月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.6%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についても併せてお知らせします。

■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(6月)

本県における平成6年6月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が96.7、出荷が96.5、在庫が109.1で、前月比は、生産が1.8%の上昇、出荷が3.8%の上昇、在庫が1.0%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が0.2%の上昇、出荷が1.1%の上昇、在庫が1.4%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、精密機械工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、一般機械工業、化学工業、鉄鋼業等が低下した。出荷では、鉄鋼業、精密機械

工業、輸送機械工業等が上昇し、鉱業、化学工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、電気機械工業、輸送機械工業等が上昇し、精密機械工業、鉄鋼業、化学工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、非耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財が低下した。出荷では、資本財、建設財等が上昇し、その他用生産財、耐久消費財が低下した。在庫では、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、鉱工業用生産財、建設財が低下した。

■ 消費者物価指数（6月）

平成6年6月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で107.4（平成2年=100）となり、前月比0.2%の下落、前年同月比0.8%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……保健医療用品・器具1.4%

今月の下がった主な項目……果物13.0%，乳卵類1.6%，

魚介類1.5%，穀類1.0%，油脂・調味料1.0%

生鮮食品を除く総合は108.3となり、前月比もちあい、前年同月比は0.9%の上昇となった。

費目別指数

（平成2年=100）

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	107.4	△0.2	0.8	保健医療	103.2	0.2	0.4
食 料	105.4	△0.8	1.0	交通通信	99.3	△0.2	△1.2
住 居	115.4	0.4	1.9	教 育	114.0	0.0	3.5
光熱・水道	102.7	0.0	△0.5	教養娯楽	108.8	△0.4	△0.4
家具・家事用品	100.1	△0.1	△1.9	諸 雑 費	104.5	0.0	0.5
被服及び履物	116.8	0.2	3.7	生鮮食品を除く総合	108.3	0.0	0.9

◇ 統計の窓

みんなの協力，みんなの統計

— 平成6年度「統計の日」ポスター標語が決定 —

統計思想の一層の普及啓蒙を図り、統計に対する国民の関心と理解を深めるため、国は10月18日を統計の日と定めています。

総務庁統計局では、この日の記念事業の一環として、毎年、各省庁、都道府県及び市町村の統計担当職員並びに統計調査員から標語を募集しており、今回は昨年を479点上回る1,861点の作品が集まりました。（内訳は、国が140点、都道府県が564点、市町村が308点、統計調査員が849点でした。）

6月24日に開かれた審査委員会で入選作品6点（特選1点，佳作5点）が決定され、本県企画部統計課・坂内敏さんと中田考宣さんの作品が佳作と

なり、8月29日、総務庁統計局において表彰を受けました。平成4，5年度の特選の作品は、本県企画部統計課職員の作品が2年連続して選ばれており、3年連続の特選獲得は逃したものの、今回は佳作に2点も入るという快挙となりました。

なお、標語は「統計の日」のポスターに使用されるほか、各種印刷物に使用され、統計の啓蒙活動に一役買うこととなります。

来年も素晴らしい標語が集まることを期待するとともに、より一層統計に対する関心、理解を深め、統計の有効利用を促進していきたいものです。

（統計課・普及指導グループ）



小山統計局長から表彰される坂内さん(左)，中田さん(右)



受彰者及び審査員の方々
 (前列左端が中田さん、左から2番目が坂内さん)

統計の日は、日本で最初の近代的生産統計である「府県物産表」に関する太政官布告が公布された明治3年9月24日(太陰暦)を現在の太陽暦に換算して、10月18日としたものです。
 (昭和48年7月30日閣議決定)

特 選

「みんなの協力，みんなの統計」

京都府統計調査員 奥村初子

佳 作 (五十音順)

「活かします 多忙なあなたの 報告値」

通商産業大臣官房調査統計部工業統計課

三上信子

「今日をみつめ 明日をひらく」

—統計は豊かな社会の創造者—

茨城県企画部統計課

坂内 敏

「統計が示す日本の本当のすがた」

和歌山県統計調査員

三浦蓬子

「統計の一つ一つに生きている あなたの協力
 統計調査」

総務庁統計局統計基準部

照井道郎

「未来を考えると き なぜか統計がほしくなる」

茨城県企画部統計課

中田考宣